岐阜市の青少年リーダー

インリーダー　ジュニアリーダー　シニアリーダー

岐阜市の青少年リーダーには、小学校高学年が活動する「インリーダー」、中高校生が地域のリーダーとなって活躍する「ジュニアリーダー」、子ども会やジュニアリーダーの支援者としての「シニアリーダー」があります。地域とのつながりを深め、豊かな人間関係と思いやりの心を育み、幅広い視野と責任をもって地域貢献できる人を育てることを目的としています。

シニアリーダーの声

シニアネーム「Light（ライト）」

私は小学校の時にインリーダーを経験し、中学生になってからもこのような活動を続けたいと思い、ジュニアリーダーをやることにしました。当時の私は、緊張すると何も話せなくなるなど、人前に立って何かをすることが苦手でした。でも、ジュニアリーダーの活動をとおして様々な面で成長でき、ジュニアリーダーによって自分は変わることができました。今ではシニアリーダーとして、地域の子どもやジュニアリーダーに少しでも貢献できるように努力しています。

自分自身をもっと成長させたいと思う人は、まずは活動の見学から始めてみましょう。

サンデー広場～長良公園～

こいのぼりまつり～岐阜ファミリーパーク～

シニアリーダーの声

シニアネーム「みにーちゃん」

私は11年間、インリーダーからシニアリーダーまで、岐阜市の青少年リーダーとして活動してきました。定例会や研修をとおして、ゲーム指導やジュニアリーダーの支援など、リーダーとしてのスキルを仲間と共に高めることができました。

青少年リーダーとして活動してきたことが将来の役に立ち、自分自身を成長し続けられると感じています。

ぜひ、インリーダーやジュニアリーダーの活動に参加してみてください。新しい自分が発見できます。

シニアリーダー（大学生）　岐阜市の青年リーダー

■シニアリーダーの役割

地域の青少年育成のためのボランティア活動を行っています。活動をとおして、青年リーダーとしての資質を高めることも目的としています。

子ども会からの依頼に応えて、公民館などで行われる行事やフェスティバルで、ゲームやバルーンアートなどをとおして、子どもたちと楽しく触れ合っています。

また、「ジュニアリーダークラブ」の支援者として、月1回各青少年会館などで行われる定例会に参加し、リーダーとしての心構えを教えたり、ゲームやバルーンアート、クラフトなどの技術を伝えたりします。

4B定例会　ゲーム研修

中学生ジュニアの声

4B ジュニアネーム「IT（アイティー）」

僕は中学校3年間のジュニアリーダーの活動をとおして、地域社会とのつながりの大切さを学びました。ジュニア定例会のゲーム研修の時は、積極的にゲームの説明をして、子ども会からの依頼に備えて、たくさん練習することができました。

依頼に参加して、小学生と交流することで、地域の人々や自然、文化に育まれた僕自身が成長できたことに気づき、郷土愛も生まれました。

3B定例会　ゲーム研修

ジュニアリーダー（中・高校生）　地域のリーダー

■どんなことをするの？

地域のリーダーとなるために、月1回（原則として第4土曜日）に定例会を行い、ゲーム・バルーン・野外炊事・地域清掃などの研修や活動を行います。

また、子ども会からのたくさんの依頼に参加し、ボランティアとして公民館などに出向いて小学生の子たちとゲームやバルーンづくりなどをして楽しんだり、インリーダーへのアドバイスをしたりします。

地域のいろいろな行事にスタッフとして参加します。

■どんな力がつくの？

研修や子ども会への依頼活動をとおして

- みんなをリードしていく力
- 人前で話す力
- 人の意見に耳を傾ける力
- 周りを見る力
- 自分の考えで動く力
- 仲間と関わる力（コミュニケーション力）

1B定例会　話し合い活動

2B定例会　バルーン研修

5B定例会　料理研修

高校生ジュニアの声

3B ジュニアネーム「りお」

今年度から高校生ジュニアとして活動してきました。来年度は最年長になるので、シニアリーダーに頼らず動けるように頑張ってきました。　中学生ジュニアとは違うということを実感した1年でした。後輩ジュニアから、「こんな先輩になりたい。」と思ってもらえるようなジュニアリーダーになりたいです。

インリーダー（小学生）　子ども会のリーダー

■どんなことをするの？

子ども会のリーダーになるために、インリーダー研修をしています。遊びやレクリエーション、クラフト、安全指導（KYT→危険・予知・トレーニング）などを学びます。

学んだことを自分たちの子ども会で活かしたり、地域のフェスティバルで、参加者を楽しませたりします。

■どんな力がつくの？

いろいろな人とのふれあいをとおして

- 進んで挑戦しようとする力
- きまりやルールを守って、仲間と仲良く活動する力
- 最後までやり遂げる力
- 感謝の気持ちを伝える力

いきいきインリーダー

インリーダー生は、子ども会のリーダーです。みんなの笑顔が地域を元気にしています。

インリーダー研修会では、学校ではできない「素晴らしい体験」や「多くの人とのふれあい」ができます。心も体も豊かに成長できます。

11/6 長良東子どもフェスティバル

王様じゃんけん、じゃんけんぽん!

パタパタ人形を作って遊びました。また来年も参加したいです。

長良東地域子ども会は5・6年生の有志がインリーダー生です。今回のフェスティバルではパタパタ人形、新聞ジャンケン、ボーリング、ブラックボックス、麦チョコつかみ、魚釣りのブースを担当しました。来年の第1ブロックフェスティバルにこの中から出店する予定です。

網代地域子ども会は5・6年生全員がインリーダー生です。今回の研修では前半に1年間の活動を振り返る壁新聞づくりをしました。後半のレクリエーションでは育成者さんから「弟子じゃんけん」と「じゃんけんサッカー」を学びました。

10/29 壁新聞作り・レクリエーション

壁新聞に賞をつけるなら、「ノーベル・ベストチームワーク賞」がいいね。

弟子、弟子、弟子。私はあなたの弟子です。

弟子、弟子、弟子。あなたは私の弟子です。

11/12 交流会

風船を結ぶのは、なかなか難しかった。でも、シニアリーダーのお姉さんから丁寧に教えてもらえて、できるようになったよ。

学校でのたて割り活動の時にできそうだ。

子ども会に戻った時に、友達に教えたいな。

指導者さんも一緒にゲームに参加

茜部インリーダー生が、ジュニア・シニアリーダーの指導で、クラフト、バルーン、ゲームの3つの研修をしました。

研修で学んだことを、これからの自分たちの活動に活かしていきたいという感想があり、意欲が大きくなりました。

マジックに参加

芥見南インリーダー生が、マジック研修をしました。身近にあるものを使って、自分たちにもできそうな15種類の笑えるマジックでした。インリーダー生たちもマジックに参加して、どんどん不思議な世界に引き込まれていきました。

また、5種類のマジックのやり方を教えてもらい、習ったことを仲間同士で試し合っていました。

簡単にできるマジックを教えてもらって楽しかったよ。自分もできるようになってうれしかったです。

11/26 マジック研修

12/17 クリスマス会

たませんを上手に作れたよ。仕事を精一杯できました。

協力して「たません」作り

インリーダーノートに記入

スタッフとしては丁寧に話すことができました。お客さんとしては、楽しむことができました。

華陽インリーダー生が、クリスマス会を行いました。たません、射的、千本引き、クリスマスリース作りの4つのブースがあり、スタッフとお客さんに前後半で分かれて楽しみました。

活動後は、各自がインリーダーノートに「今日ゲットしたこと」という題で振り返りをしていました。

地域にはすばらしい小中高生の姿がありましたが、すべてを載せることができずに申し訳ありません。その他については、中央青少年会館HPで見ることができます。

地域で輝く小中高生

地域の人と共に活動する中で、行事の意義や人とのかかわり方、将来の生き方などを学ぶことができます。体験は宝です！地域の行事やボランティアに進んで参加してみよう。

11/20 岐北中校区　小中合同地域活動

地域で活動することで、中学生としての自覚をもつことができました。

中学生の積極的な姿を見た小学生も、地域のために一生懸命頑張ってくれました。

岐北中学校区（西郷・黒野・方県・網代）で、74の地区に分かれて「小中合同地域活動」が行われました。公民館や神社、いつも使っている場所を清掃しました。中学生がリーダーとなり、活動内容や役割を考え、小学生と保護者、地域の方と共に活動しました。地域で活躍することが、自分への自信へとつながっていました。

青少年育成市民会議

青少年育成市民会議は、みなさんを地域ぐるみで見守り、人間性豊かな社会人に成長してもらえるように応援している組織です。

1B「少年の主張大会」

少年の主張大会は、特色のある活動の一つで、毎年6月に実施されます。第1ブロック内の中学校6校から、代表の生徒が、中学生ならではの「主張」をしました。内容は未来への提案、身の回りの出来事、社会の問題等様々です。中学生ならではの進路に関する主張もあり、大人にとって聞き応えのあるものばかりでした。また、ボランティアを通して学んだことの主張もありました。聞いている大人にとって、地域活動の在り方を考えさせられるものでした。

「少年の作文」2B

「少年の作文」の取組がはじまり、8年目を迎えました。全14の小中学校から1,168点の応募がありました。作文の内容は、「自分と地域の自然・歴史や人々との様々な関わりについて考えたこと」です。青少年健全育成大会では、最優秀賞に選ばれた3名の児童生徒による作文発表と表彰式が行われました。また、「子どもたちが地域を思う素晴らしい姿」を多くの方に知ってもらいたいという願いから、優秀作品22編を作品集にしました。

3B「金華山登山道サポート事業」

金華山登山道サポート事業は、第3ブロックの特色ある事業の一つで、今年度で4年目になります。金華山の保全活動を推進する「十時会」と「金華山サポーターズ」の活動に協力して年3回行っています。自然災害やイノシシの掘り起こしによる登山道の損傷を修復する活動です。ここで活躍するのはボランティアの中学生です。自然豊かな金華山に愛着をもつとともに、社会に貢献する喜びを味わい、活動に励んでいます。

「青年国際交流会」4B

第4ブロックの「青年国際交流会」は、昭和62年から続く歴史ある事業で、今年度の交流国はイタリアでした。地域から86名の中高生スタッフが参加し、A司会進行・講師補助、B受付・会場準備、C餅つきの世話、D交流国の料理づくり、E食事配膳等に分かれて活動しました。特に今年度は、イタリアの伝統的衣装を紹介するファッションショーに中高生も出演し、華やかな雰囲気の中で、楽しい交流が行われました。

5B「ディベート大会」

ディベートは「言葉のスポーツ」ともいわれます。テーマについて、賛成か反対かの二つのグループに分かれ、審判を説得するゲームです。5ブロックでは、このディベートをはじめて7年目になりました。

参加者からは「自分の考えを見つめ直すことができ、考えが深まりました。」（中学生）「みんな熱心に取り組めていた。」（高校生）「お互いにしっかりと相手に自分の意見を伝えようとしていて、素晴らしかった。」（参観者）の感想が聞かれました。